



2020年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月12日

上場会社名 シルバーエッグ・テクノロジー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3961 URL <https://www.silveregg.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) トーマス・アクイナス・フォーリー
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部 副部長 (氏名) 樋之内 幸正 TEL 06 (6386) 1931
 定時株主総会開催予定日 2021年3月26日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2021年3月26日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年12月期の連結業績（2020年1月1日～2020年12月31日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	1,232	23.3	219	98.3	218	97.2	100	—
2019年12月期	999	—	110	—	110	—	△20	—

（注）包括利益 2020年12月期 97百万円（—%） 2019年12月期 △26百万円（—%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年12月期	33.86	33.78	10.6	19.3	17.8
2019年12月期	△6.89	—	△2.3	10.9	11.1

（参考）持分法投資損益 2020年12月期 ー百万円 2019年12月期 ー百万円

（注）当社は、2019年12月期より連結財務諸表を作成しているため、2019年12月期の対前期増減率については記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期	1,236	1,002	81.1	338.00
2019年12月期	1,021	885	86.7	301.44

（参考）自己資本 2020年12月期 1,002百万円 2019年12月期 885百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年12月期	202	△41	1	886
2019年12月期	61	△130	12	726

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	597	△3.1	59	△58.1	59	△57.8	37	△36.0	12.36
通期	1,236	0.3	144	△34.4	144	△34.0	91	△9.1	30.67

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年12月期	2,966,942株	2019年12月期	2,938,400株
2020年12月期	42株	2019年12月期	42株
2020年12月期	2,957,873株	2019年12月期	2,926,001株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会の内容の入手方法について）

当社は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、従来のアナリスト向けの説明会開催に替えて、2021年2月下旬にアナリスト向けに当該説明用の音声データを配信する予定です。決算補足説明資料はTDnetで開示予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(追加情報)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(連結損益計算書関係)	11
(株主資本等関係)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により世界経済が大きな打撃を受けた中、緊急事態宣言が発出され厳しい状況となりました。5月に宣言が解除された後は、社会経済活動を段階的に引き上げる各種政策が打ち出され、一時的に落ち着きを取り戻す動きに期待されましたが、第3波の発生により再び感染者が急増へと転じたことから、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

一方で、当社の事業が関連するBtoC-EC（消費者向け電子商取引）市場規模は、2018年に18.0兆円（前年比8.9%増）から、2019年は19.4兆円（前年比7.7%増）に成長しており、同時にEC化率も6.8%（前年比0.54ポイント増）と増加傾向にあります。そのうち、物販は10兆515億円（前年比8.1%増）と51.9%を占めております。また、2019年のネットショッピングを利用した世帯（2人以上の世帯）の割合も42.8%（前年比3.6ポイント増）と増加しており、スマートフォンの利用範囲の広がり等により、商取引の電子化が引き続き進展し、さらなる拡大が見込まれております（経済産業省・総務省調べ）。

このような状況の中、当社は「AI（人工知能）クラウド型サービスで、あらゆるタッチポイントにおけるリアルタイム・パーソナライゼーションの実現」をミッションに掲げ、ECサイト運営企業、ウェブサービス企業向けに、AIを用いたマーケティング支援ツールである「リアルタイム・レコメンド・サービス」を提供してまいりました。

営業活動につきましては、新型コロナウイルス感染症による外出自粛に伴う「巣ごもり消費」による影響により売上が一時的に増加し、「Go Deep」戦略により引き続き既存業界であるアパレル業界や人材業界並びにメディア業界（電子書籍）を中心に、既存顧客の売上が堅調に推移いたしました。

新規顧客獲得の施策としましては、ECパッケージの提供企業やデータフィード管理ツールを提供するマーケティング支援企業など、各ジャンルにおいて強みを持つ優秀なパートナー企業との連携の強化や、海外におけるサービス展開を行うため新規の業務提携などを進めてまいりました。

また、展示会やセミナー開催が延期等の措置が講じられていることを受け、Web環境での展示会出展や各種イベント開催を行ってまいりました。

研究開発につきましては、新サービスとして見た目が似ている商品を高精度でレコメンド表示する画像認識レコメンドの対応アイテム点数拡張と精度向上を図り、同サービスの受注を開始し、アパレル企業において初リリースを行いました。

一方、当社グループは、前期末から引き続き新たなAIマーケティング・プラットフォームの次世代バージョンリリースに向けての研究開発強化にも取り組んでまいりました。

今後もAI技術をベースにしたデジタルマーケティングサービスの提供を通じて、多様なマーケティング施策の効果向上を支援するとともに、あらゆるチャネルとデバイス上でのパーソナライゼーションによる付加価値向上を実現してまいります。

この結果、当連結会計年度の営業収益につきましては、上述の「Go Deep」戦略の推進及び「巣ごもり消費」に起因するインターネット通販需要が増加した時期の影響もあり、特に既存顧客向けの取り込みにより大幅に伸長し1,232,530千円（前年同期比23.3%増）となりました。

利益につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の収束後における新常态（ニューノーマル）を見据えた施策や人材採用等を行いました。展示会出展やセミナー延期等に係る代替対策、従業員の在宅勤務対策など事業維持対策に伴う費用抑制効果等で営業費用の増加幅が抑えられたこと等により、営業利益は219,404千円（同98.3%増）、経常利益は218,327千円（同97.2%増）と大幅な増加となりました。また、投資有価証券評価損を22,913千円計上いたしました。上記により親会社株主に帰属する当期純利益は100,148千円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失20,165千円）となりました。

なお、当社グループは、レコメンドサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ214,449千円増加し、1,236,395千円となりました。主な内訳は、現金及び預金の増加160,117千円、無形固定資産の増加40,971千円であります。

(負債)

当連結会計年度末の負債は、前連結会計年度末に比べ97,360千円増加し、233,574千円となりました。主な内訳は、未払法人税等の増加61,251千円、賞与引当金の増加21,346千円及び未払費用の減少20,113千円であります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末に比べ117,088千円増加し、1,002,820千円となりました。主な内訳は、資本金の増加10,031千円、資本剰余金の増加10,031千円、親会社株主に帰属する当期純利益100,148千円によるものであり、自己資本比率は81.1%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ160,117千円増加し、886,526千円となりました。なお、当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動の結果、得られた資金は、202,953千円（前年同期に得られた資金は61,360千円）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益の計上額193,328千円、投資有価証券評価損の計上額22,913千円、賞与引当金の増加により21,346千円により資金を得た一方で、法人税等の支払額49,215千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動の結果、支出した資金は、41,239千円（前年同期に支出した資金は130,214千円）となりました。これは、無形固定資産の取得による支出41,239千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動の結果、得られた資金は、1,312千円（前年同期に得られた資金は12,812千円）となりました。これは、株式の発行による収入1,312千円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年12月期 (個別)	2017年12月期 (個別)	2018年12月期 (個別)	2019年12月期 (連結)	2020年12月期 (連結)
自己資本比率 (%)	85.80	86.81	89.47	86.67	81.10
時価ベースの 自己資本比率 (%)	1,121.49	655.22	289.03	355.09	431.93

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

- (注) 1. キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、有利子負債が存在しないため記載をしておりません。
2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式を除く）により算定しております。
3. 2018年12月期以前は参考情報として個別決算の指標を記載しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による不透明な経済環境を想定し、既存顧客の業界における影響を考慮しつつ、次年度（2022年度）以降への積極的な施策を行ってまいります。

まず、新規顧客の開拓を進め国内シェアの拡大及び海外におけるサービス強化のため、パートナー企業とのさらなる連携強化等の施策により展開を加速させてまいります。

また、新常态（ニューノーマル）に対応したマーケティングを行うためにWeb環境での展示会及びセミナー等を積極的に実施し、見込み客の獲得拡大を目指してまいります。さらに製品力を強化するため、新製品の開発及び既存製品の追加機能強化などにも積極的に取り組んでまいります。

そのための優秀な人材獲得にむけた採用活動の強化、デジタルマーケティングツールの展開や次世代プラットフォームの市場導入に向けた投資を行ってまいります。

上記のことから、2021年12月期の業績見通しにつきましては、営業収益1,236,000千円（前期比0.3%増）、営業利益144,000千円（前期比34.4%減）、経常利益144,000千円（前期比34.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益91,000千円（前期比9.1%減）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際会計基準に基づく連結財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	726,408	886,526
売掛金	188,131	209,014
その他	11,996	23,753
貸倒引当金	△65	△286
流動資産合計	926,471	1,119,008
固定資産		
有形固定資産		
建物	28,255	28,255
減価償却累計額	△6,409	△8,319
建物(純額)	21,846	19,935
工具、器具及び備品	46,775	43,910
減価償却累計額	△35,426	△36,438
工具、器具及び備品(純額)	11,348	7,472
有形固定資産合計	33,195	27,408
無形固定資産		
ソフトウェア	53	2,633
ソフトウェア仮勘定	11,906	50,298
その他	213	213
無形固定資産合計	12,173	53,145
投資その他の資産		
投資有価証券	27,402	-
繰延税金資産	8,940	24,218
その他	13,763	13,478
貸倒引当金	-	△863
投資その他の資産合計	50,105	36,833
固定資産合計	95,474	117,387
資産合計	1,021,945	1,236,395
負債の部		
流動負債		
未払金	58,406	60,455
未払費用	31,240	11,126
未払法人税等	30,525	91,777
賞与引当金	-	21,346
役員賞与引当金	-	3,984
その他	16,041	44,885
流動負債合計	136,213	233,574
負債合計	136,213	233,574
純資産の部		
株主資本		
資本金	275,240	285,272
資本剰余金	260,004	270,035
利益剰余金	357,070	457,218
自己株式	△134	△134
株主資本合計	892,181	1,012,392
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△6,449	△9,571
その他の包括利益累計額合計	△6,449	△9,571
純資産合計	885,732	1,002,820
負債純資産合計	1,021,945	1,236,395

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
営業収益	999,230	1,232,530
営業費用		
役員報酬	61,364	61,607
給料及び手当	262,004	275,155
賞与引当金繰入額	-	21,346
役員賞与引当金繰入額	-	3,984
株式報酬費用	-	14,062
法定福利費	43,140	49,774
通信費	192,716	228,467
支払手数料	71,648	65,861
貸倒引当金繰入額	12	220
減価償却費	5,750	5,840
その他	251,932	286,805
営業費用合計	888,570	1,013,126
営業利益	110,660	219,404
営業外収益		
受取利息	71	7
受取手数料	20	-
雑収入	-	43
営業外収益合計	91	50
営業外費用		
為替差損	64	263
貸倒引当金繰入額	-	863
営業外費用合計	64	1,126
経常利益	110,687	218,327
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	82,324	22,913
関係会社整理損	1,686	-
賃貸借契約解約損	-	2,085
特別損失合計	84,010	24,999
税金等調整前当期純利益	26,676	193,328
法人税、住民税及び事業税	49,617	108,458
法人税等調整額	△2,775	△15,278
法人税等合計	46,842	93,179
当期純利益又は当期純損失(△)	△20,165	100,148
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に 帰属する当期純損失(△)	△20,165	100,148

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△20,165	100,148
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△6,449	△3,122
その他の包括利益合計	△6,449	△3,122
包括利益	△26,614	97,025
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△26,614	97,025
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	268,834	253,598	377,774	△134	900,072
当期変動額					
新株の発行	6,406	6,406			12,812
親会社株式に帰属する 当期純損失(△)			△20,165		△20,165
連結範囲の変動			△538		△538
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	6,406	6,406	△20,704	—	△7,891
当期末残高	275,240	260,004	357,070	△134	892,181

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計 額合計	
当期首残高	—	—	900,072
当期変動額			
新株の発行			12,812
親会社株式に帰属する 当期純損失(△)			△20,165
連結範囲の変動			△538
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△6,449	△6,449	△6,449
当期変動額合計	△6,449	△6,449	△14,340
当期末残高	△6,449	△6,449	885,732

当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	275,240	260,004	357,070	△134	892,181
当期変動額					
新株の発行	10,031	10,031			20,062
親会社株主に帰属する 当期純利益			100,148		100,148
連結範囲の変動					-
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	10,031	10,031	100,148	-	120,211
当期末残高	285,272	270,035	457,218	△134	1,012,392

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計 額合計	
当期首残高	△6,449	△6,449	885,732
当期変動額			
新株の発行			20,062
親会社株主に帰属する 当期純利益			100,148
連結範囲の変動			-
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△3,122	△3,122	△3,122
当期変動額合計	△3,122	△3,122	117,088
当期末残高	△9,571	△9,571	1,002,820

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	26,676	193,328
減価償却費	5,750	5,840
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	12	1,083
賞与引当金の増減額 (△は減少)	-	21,346
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	-	3,984
受取利息	△91	△7
固定資産除却損	0	0
関係会社整理損	1,686	-
投資有価証券評価損益 (△は益)	82,324	22,913
株式報酬費用	-	14,062
賃貸借契約解約損	-	2,085
売上債権の増減額 (△は増加)	△35,572	△20,407
前払費用の増減額 (△は増加)	△1,078	△6,419
未払金の増減額 (△は減少)	18,190	2,108
未払費用の増減額 (△は減少)	6,198	△20,113
未払消費税等の増減額 (△は減少)	836	20,669
その他	△831	7,223
小計	104,101	247,697
利息の受取額	91	4,471
法人税等の支払額	△42,832	△49,215
営業活動によるキャッシュ・フロー	61,360	202,953
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,295	-
無形固定資産の取得による支出	△12,484	△41,239
投資有価証券の取得による支出	△109,434	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△130,214	△41,239
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	12,812	1,312
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,812	1,312
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,144	△2,909
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△62,185	160,117
現金及び現金同等物の期首残高	788,594	726,408
現金及び現金同等物の期末残高	726,408	886,526

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の影響について）

新型コロナウイルス感染症については収束時期を正確に見通すことは現時点において困難ではありますが、当連結会計年度末において重要な影響は生じておりません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結損益計算書関係）

（投資有価証券評価損）

当社の連結子会社Silver Egg Technology Asia Limitedが所有しておりました投資有価証券のZeroth SPC社（以下、Zeroth社）が運営するAI 特化スタートアップアクセラレーターファンドへの運用開始分について、当社（親会社）へ2020年4月に移管を行い、ファンドの運営管理並びに監視体制の強化を図ってまいりましたが、当連結会計年度において、新型コロナウイルスの更なる感染症拡大の影響に加え、Zeroth社の運営責任並びにファンドマネージャーが不在となる等の運営環境及び管理体制が急変いたしました。これにより、当社として投資の価値を適切に把握することが、困難な状況に至りましたため、保守的な観点から減損損失処理を行うことが妥当と判断し、特別損失に22,913千円の投資有価証券評価損を計上しております。

（株主資本等関係）

（株主資本の著しい変動）

当社は、2020年3月2日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬制度の導入を決議し、2020年3月27日開催の第22期定時株主総会において承認可決されました。2020年4月24日付で譲渡制限付株式報酬として新株の発行26,042株を行っております。この結果、資本金及び資本準備金がそれぞれ9,375千円増加しております。

（セグメント情報）

当社グループは、レコメンデーションサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
1株当たり純資産額	301.44円	338.00円
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額(△)	△6.89円	33.86円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額について、前連結会計年度は潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失金額であるため、記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額又は親会社株主に帰属する当期純損失金額(△) (千円)	△20,165	100,148
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額又は親会社株主に帰属する当期純損失金額(△)(千円)	△20,165	100,148
普通株式の期中平均株式数(株)	2,926,001	2,957,873
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった在株式の概要	2014年12月24日取締役会決議 新株予約権100個 2015年11月12日取締役会決議 新株予約権25個	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。